

令和2年度 第1回堺市立図書館協議会	
令和2年12月25日(金) 14時~15時 堺市立中央図書館 1階 集会室	
委員	常世田良会長(リモート参加)、平野祐子副会長、久保照男委員、 飛石隆男委員、脇谷邦子委員、吉田マリ子委員、山中浩之委員、 森美由紀委員
欠席	高橋康一委員
事務局	藤田中央図書館長、浦部中央図書館参事(企画・調整担当)、 赤嶺中央図書館総務課長、田中中央図書館総務課長補佐、 杉本中図書館長、六車東図書館長、中川西図書館長、白川南図書館長、 成清北図書館長、岡田美原図書館長、伊豫田企画情報係長、 白川図書館サービス係長、湯川主幹兼管理係長、輔信企画情報係副主査、 浦田企画情報係員
傍聴	1人
案件	1. 令和元年度堺市立図書館サービス評価について 2. 令和2年度 各区の取組目標について 3. その他(市議会報告、市民の声、利用者アンケートについて、大阪狭 山市との相互利用協定について、郷土資料展記念講演会について)

署名委員の決定
飛石委員 吉田委員

案件1について	
発言者	内容
事務局	<p>案件について説明。</p> <p>(高橋委員よりお預かりしたご意見)</p> <p>令和元年11月22日、サンスクエアさかいで開催された大阪府・大阪 市合同の研究集会において、美原図書館職員によるティーンズエリアの活 動報告について、参加者から好評だった。</p> <p>また中央図書館からの、学校図書館部会での資料提供などの連携につい て評価いただいた。</p>

会長	<p>コロナの影響で、例年通りの評価は難しい。図書館現場の職員たちの頑張りについては評価しなければいけない</p> <p>委員の方々にも忙しい中、サービス評価にご協力いただいた。御礼申し上げます。</p>
委員	<p>データベースに資料を公開し、精細画像で見られるのが、市民の方にも魅力になっているではないか。</p> <p>私自身は、堺市内の住民はもちろん、もう少し市外の方にもデジタルサービスをPRしてほしい。</p> <p>図書館が持っている貴重資料含めて、いくつかの自治体でデータベース公開しているところがあり、これらはとてもありがたい。専門的なことも多いので限られたものになるだろうが、こうした取組について発信すると、こういう資料・サービスもあると、図書館自体の全国知名度があがる。資料の実物は、今の状況では閲覧する・利用するのは難しい。デジタルで公開することが図書館にとってマイナスになることはおそくないだろうから、積極的に全国展開することで堺市立図書館という存在を知ってもらうことになる。それが市民の方にとっても、こんな図書館があるということ強く意識する機会になる。そのためにマイクロフィルムのデジタル化を積極的に推進することが重要。</p> <p>いろいろな歴史講座は熱心にしてもらっている。ただ展示スペースが限られているので、もう少し大きく宣伝する形で、より多くの方がこういうことをやっているというのが分かるように。今のままだと、いい展示なのに、どうしても地味になる。図書館に足を運んだ方にしか見てもらえない。もう少し他の場でも、図書館の宝を示す機会を増やす展開を。</p>
会長	<p>コロナ禍で閉館していても、図書館資料が使えるということの重要性が明らかになった。堺市は電子書籍の所蔵があり、ご意見あったようにその他のデジタルコンテンツの発信をしていたのが評価できる。</p> <p>アメリカでは大量のデジタルコンテンツを発信していた。ご意見いただいたようなことを積極的に進めていただきたい。</p>
委員	<p>子どもの貸出、出先の青少年会館ではよく借りられている。しかし、なかなか図書館そのものへの来館は少ない。</p> <p>また学校図書館への貸出を積極的にしてもらっている。各学校での年間</p>

	<p>読書数につながっている。学校への書籍の貸出は、これからも進めていただければと思う。</p>
委員	<p>15 ページ指標「WEB での貸出」を 4 ページの「市民の暮らし～」の「ICT の積極的～」に入れてもいいのではないかと。ICT という言葉が出てくるが、さまざまなサービスがある。堺市立図書館では電子書籍に力をいれてきたが、近年の図書館の状況を見てみると、たとえば AI ロボット（ペッパーなど）、自動貸出、AI での図書紹介をしている図書館もある。マイクロフィルムのデジタル化など、いろいろ考えられる。</p> <p>電子書籍サービスの、その次のサービスをどうするのか、図書館で検討いただきたい。また、ICT 関連の指標を追加することを要望したい。</p>
会長	<p>アメリカの図書館では多様なツールや zoom を使ったおはなし会、映画配信が、都会に限らず地方図書館でも実施されている。やはりそういったことも進めていくべき。</p>
委員	<p>一般の人にとっていい図書館とはどういうことか、日常の当たり前の図書館サービスということが大事だと思う。読みたい本がある、職員の対応がいいといったことを含めて必要なのでは。個々の事業に含まれているかもしれないが、そういうことも評価に反映できるような仕組みを。</p> <p>また、ヤングアダルト、高齢者、障害者サービスが他の自治体の図書館と比べて十分でないと思う。在留外国人も含めたすべての人へのサービスをめざしてほしい。</p>
会長	<p>サービス方針の見直しも進めていくと聞いているので、連動して見直すという時期に来ているのではないかと。</p>
委員	<p>限られた職員のなかで堺市として図書館運営していることを私は評価する。</p> <p>さまざまな取組をしているが、それが表面に出るか出ないか。その PR を考えてやっていけたら、もうひとつ大きく評価されるのではないかと。</p> <p>いろいろなものが機械化されていく。それには予算がついてくる。果たして堺市として、図書に対し全体予算の何パーセントを投資するのか。あれもしたいこれもしたいという気持ちもあるだろうが、職員に知恵を絞って優先順位をつけて予算を振り分けていただく。これからの時代は機械化。どれだけ人が知恵をしぼっても機械にはかなわないところも出てく</p>

	<p>る。そののところもよろしく願います。</p> <p>ただ、ここまで7つの区の図書館を運営している職員に対しては敬意を表したい。</p>
会長	<p>予算についての非常に重要なお意見。政令指定都市は一つの行政区あたりの人口が10万～30万とかなりの人口を抱えている。10万～20万くらいの自治体で大きな図書館をいくつか持つところも全国に珍しくない。行政区ひとつが一つの自治体と考えると、政令指定都市の場合はなかなか図書館の数も少なく、予算も少ない。政令指定都市同士で比較するとそこそこ、という話になってしまうのだが、全国的な市民一人当たりの図書館サービス、という風に考えると、もう少し予算を充ててもおかしくないという話もあり、比較するときの枠組みについても見直す必要がある。</p>
<p>案件1については現状の承認でよろしいか。賛成の方は挙手を (全員挙手。承認)</p>	

案件2について	
発言者	内容
事務局	案件について説明
会長	<p>今年度の実績評価を、来年度に振り返ってすることはなかなか難しい状況となっている。全国の図書館での状況は、今後明らかになってくるだろう。</p>
委員	<p>現状を考えると様々な事業はできないのでは。あまり無理をしても、感染源になってしまうのではできない。先のことははっきり言えないが、ワクワクン等ができるまでは行動は制約されるだろう。無理せずに、世界各国の図書館のあり方について勉強しておくのがいいのではないか。</p>
副会長	<p>中区の危機管理に対する取組は全館通してベースのひとつにしてもいい取組ではないか。</p>
事務局	<p>今年度の市立図書館全体の目標として、新しい生活様式にあった図書館運営があり、そのベースに危機管理への対応がある。中区はこれを反映し、目標設定したもの。</p> <p>委員のご意見は図書館内でも同様の認識として取り組んでいく。</p>
委員	<p>今、図書館利用者の高齢化(60歳～70歳)が進んでいる。その人たち</p>

	<p>にどうサービスをするのか。また働き盛りの 40 代、50 代に対してなど、地域館がもう少しそういう視点ができてもいいのではないかと。たとえば美原区では中高年を意識した蔵書構成などが挙げられている。自館の利用者層を把握して、多いところには多いなりの対応を。子どもとか 30 代、40 代といった利用が少ない層には、利用者を惹きつける何かが必要なんじゃないか。</p>
事務局	<p>図書館運営での一般的な話になるが、利用度の高い層をターゲットにしてサービスをしていく一方、利用の少ない層に対して PR 強化して呼びこむということは、両面的にやっていくということで図書館でも実施している。</p> <p>委員からの、実態を把握して適切な目標設定のうえ取り組むというのは、図書館運営での基本的な立ち位置として進めていきたい。</p>
会長	<p>私も評価のところでは書かせてもらったが、行政全体として評価する際に PDCA サイクルを立てていく手法がある。区域館ではそのサイクルがちょっと見えにくい。そういうあたりの工夫をもう少ししてほしい。</p>
<p>案件 2 について承認でよければ挙手を。 (全員挙手)</p>	

案件 3 について	
発言者	内容
事務局	案件について説明
委員	<p>アンケートと市議会について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートについて <p>図書館利用者は高齢者多い。電子書籍利用がコロナの時期に増えたといえども、使い方わからない、あまり利用しないという方が多い。そういう方にどうやってお知らせしていくかが課題。また、利用環境がない方もいる。そうしたことをどう受け止めていくか。</p> ・市議会について <p>管理運営に向けて指定管理、窓口業務を含めた業務委託を、費用対効果を含めて検討を、との意見がある。そのなかで、「図書館ネットワーク全体でのサービス向上を実現するため、さまざまな運営手法の導入について</p>

	も検討していく」とあるが、このさまざまな運営手法とはどういったことを想定した答弁なのか。
事務局	さまざまな運営手法というのは、今後、施設の複合化ということも中央図書館再整備に当たっては考えられるので、そういった視点を含めて、施設管理を含めた図書館全体の指定管理を、アウトソーシングを含めて検討していくという想定で答弁した。
会長	指定管理者制度について、導入後のサービス水準の推移など分析されないまま議論が進んでいるところがある。 市の方針として決定した場合は覆すのが難しいので、民間活力の導入という目的ありきではなく、本当にサービス向上につながるのか、内部での検討段階で実質的な討議ができるようしていただきたい。
委員	市議会での答弁の中で図書館をどのように建て替えるのかとあるが、議論はどこまで進んでいるのか。
事務局	令和2年9月議会での市長答弁で、「自身の任期中に方向性を示すようにしたい」とあり、それを受けて市長部局と教育委員会とで動いていくことになるかと思う。
委員	図書館の建替計画について、堺世界遺産魅力創造ロードマップが大きい位置を占めており、これに沿って図書館も考えていくという風に書かれているように見える。このプランがよくわからない。図書館はこのロードマップに沿って複合化も含めて考えていくことになるのか、変更になるのか、もうすでに決まっているのか。
事務局	堺世界遺産魅力創造ロードマップについては、大仙公園周辺、百舌鳥古墳群周辺を対象とした計画書になっている。施設としては大仙公園、日本庭園、博物館、都市緑化センターなど。 公園エリアの中に図書館が入っていたので、ロードマップのひとつとして記載されている。まだまだ10年後をめどに作成されたもので、具体的に実現するには修正が入ってくる。 再整備については来年・再来年で中央図書館基本計画の策定、再整備方針の決定。3年後からは立地場所に合わせた中央図書館の基本立地設計などが記載されている。 場所については決まっていない。市の状況に応じて図書館の建替は変わ

	ってくる。
会長	岡山県立図書館は施設整備や清掃を指定管理し、図書館機能は直営でした状態で「指定管理者制度を導入している」としている。
<p>以上で本日の案件を終了する。</p> <p>次回の予定を事務局より。</p>	
事務局	次回は令和3年2月から3月までに図書館協議会を予定している。
会長	会長がリモート参加で申し訳ない。早くこうした状況が落ち着き、皆さんと同じ場所で協議会をしたい。
閉会	